

# 平成 26 年 4 月 20 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時 イースター・オープン礼拝 愛餐会

司 会 : 片岡洋一兄  
奏 楽 : 米田 香姉  
おいのり : 下岡晶子姉  
さんび : 新聖歌 127「墓の中に」1. 2. 3 節  
主の祈り  
聖 書 : マルコによる福音書 16 章 1 ~ 8 節 (P.81)  
(朗読: 赤塚孝子姉)

お証し : 鄭恵真姉  
独 唱 : 「もし天国が見えたなら」「週のはじめの日」

メッセージ : 「今日は金曜日、もうすぐ日曜日」倉知 契牧師

全員合唱 : 「花」「花は咲く」「ふるさと」  
映 像 : レーナ・マリア  
ゴスペル : 「I am so Happy」

さんび と 献金 : 新聖歌 233「驚くばかりの」  
頌 栄 : ハレルヤ(B♭)  
祝 禱  
報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ イースターおめでとうございます！今日は復活祭です。  
皆様を心から歓迎致します。昼食もぜひ一緒に(無料)
- ◇ 毎週の日曜礼拝(ミサ)にもどなたでも歓迎します！
- ◇ 5月11日(日)はソプラノ原田恵さんの独唱+  
TED式対談のオープン礼拝。テーマは「家族」です。
- ◇ 5月25日(日)は礼拝後、楽しいバザー(献品歓迎します！)
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース ルカ14章~17章 Bコース サムエル記上13章~29章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年4月27日]

[司会: 平松章治兄、いのり: 持田樹理姉、聖書朗読: 大神久美姉]

[ピアノ: 小島明美姉 & 池田愛姉、賛美リード: 小島誠兄]

アシスト: 武藤詩奈姉、大神美乃姉

[献金: 太田昌子姉、受付: 加藤和代姉]

◇PA: 平松章治兄

◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄

◇日曜学校: 倉知契牧師



イエスはよみがえってここにはおられない！  
He is risen! He is not here.

マルコ福音書十六の六

「明日できることは今日するな」 トルコのことわざ  
もう一度読んでみてください。フランクリンの金言「今日できることは明日に延ばすな」とは真逆です。日本ではほとんどの人が明日に延ばすのは怠け者と言われて育ったのではないのでしょうか。ところが、トルコや中南米の格言は「明日できることを今日するな」。トルコの場合、こんな不毛な土地にいても家畜は飼えないから今日努力しても無駄、明日出発しようという遊牧民の知恵から生まれました。一方、中南米では、明日のことは明日考えよう、今日という日を精一杯喜んで生きようという意味で、簡略して「明日(マーニャ)」と声を掛け合います。どちらにしても怠惰の勧めではなく、今日をやるべきこと明日でよいことを見極める必要を教えているのです。

明日の分も今日頑張れば、人より一歩先に行けそうですか？いつか倒れてしまいます。明日の仕事で頭が一杯でしょうか。今、目の前にいる大切な人・家族との食事を楽しみましょう。私のモットーは「出逢うひとりに愛をこめて」。

黒人女性として初めて米国務長官を務めたコンドリーザ・ライスさんの父親は牧師でした。教会で聖書を学んで育った彼女は、やがて国の重い責任を委ねられ、難しい決断を迫られる度に、ひざまずいてお祈りしたそうです。そして何があっても「展望」を持ち続ける徹底した楽観主義を身に着けました(日曜学校は大切ですね)。そして、いつも心に響いていた牧師のことばは「金曜日のあとには日曜日がくる」だったそうです。え？金曜日のあとは土曜日ですが、これは黒人教会の合言葉。つまり、十字架(金曜日)のあとには復活(日曜日)が来る！だから、どんな悲しみも痛みも、辱められるようなことがあっても、日曜が来るから希望を捨てないで！これが彼女の生き方を支えました。

まさに今日がその日曜日。振り返ればつらい涙の日々もありました。でも喜びの朝がやってきます。ですから「明日のことを心配せず」感謝をもって今日を楽しみませんか。あなたと共に、心から復活祭(イースター)おめでとうございます！

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契